

FUTURE カップ カレッジゴルフ日本選手権 予選共通規定

<予選共通競技規定>

「競技規則」

2019年JGAゴルフ規則、「FUTURE カップカレッジゴルフ日本選手権」予選共通競技規定及び特別競技規則、各会場特別競技規則を適用する。

「競技委員会の裁定」

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の決定は最終である。

※競技委員会の決定については、保護者等からの抗議、その他クレームは一切受け付けません。

「使用球」

使用する球はR&Aが発行する最新の適合リストに掲載されていなければならない。

※ワンボールルールは適用しない。

「ドライビングクラブ」

プレーヤーがストロークを行うために使うドライバーはR&Aが発行する適合ドライバーヘッドリストに記載されているクラブヘッド（モデルやロフトで識別される）を持つものでなければならない。この条件に違反したクラブでストロークを行うと競技失格となる。

「クラブフェースの溝」

ストロークを行うとき、プレーヤーは2010年1月1日に施行された用具規則の溝とパンチマークの規格に適合するクラブを使用しなければならない。

この条件に違反したクラブでストロークを行うと競技失格となる。

「キャディーの使用禁止」

プレーヤーはラウンド中、キャディーを使用してはならない。

「プレーのペース」

1組目が4人組の場合ハーフ2時間15分、3人組の場合は2時間5分のペースを維持してプレーをすること。

2組目以降は1ホール以上間隔を空けた場合にペナルティの対象となる。

プレーの進行が遅い場合、不当に遅くしているプレーヤーを特定し、そのプレーヤーに1罰打を科す。

「プレーの一時中止と再開」

険悪な気象条件にあるため、委員会の決定により競技を一時中断する場合は、サイレン、放送、無線などで合図をするので、ボールをマークして競技委員の指示に従うこと。競技の再開も同様とする。

「ホールとホール間での練習禁止」

ラウンド中プレーを終了したグリーン上、及びその近くではいかなる練習ストロークも行っていない。

「最大スコア」

最大スコアをパーの2倍のスコアとする。

最大スコアに達した場合は、そのホールのプレーを終了すること。

「競技終了時点」

表彰式を終了した時点をもって、競技を終了したものとみなす。

<予選共通競技特別規則>

1. アウト・オブ・バウンズの境界は白杭をもって標示する。
2. 修理地は青杭、白線、またはその両方をもってその限界を標示する。
3. U字排水溝はジェネラルエリアの一部として扱われ、ペナルティーエリアではない。
4. 人工の表面を持つ道路に隣接しているU字排水溝は、その道路の一部として扱う。
5. バンカー内の流水跡は修理地とする。
6. プレーヤーの球が見つからない、あるいはアウトオブバウンズであることが分かっている、または事実上確実な場合、そのプレーヤーはストロークと距離に基づいて処置するのではなく、次のように処置することができる。2罰打を受け、プレーヤーはこの救済エリアに元の球か別の球をドロップすることによって救済を受けることができる（規則 14.3 参照）

推定した2つの基点

- a.) 球の基点：元の球がコース上に止まったと推定される地点。または、アウトオブバウンズとなったときにコースの境界線を最後に横切ったと推定される地点。
- b.) フェアウェイの基点：球の基点に最も近く、しかし、球の基点よりホールに近づかない、プレーしているホールのフェアウェイの地点。

基点に基づく救済エリアのサイズ：ホールから球の基点を通る直線（加えて、その直線から外側へ2クラブレングスの範囲）。そして、ホールからフェアウェイの基点を通る直線（加えて、その直線からそのフェアウェイ側へ2クラブレングスの範囲）。しかし、次の制限ある。

救済エリアの場所の制限：ジェネラルエリアでなければならない。そして、球の基点よりホールに近づいてはならない。

※ローカルルールひな型E-5 図1～3で確認すること。

プレーヤーは見つからない、あるいはアウトオブバウンズであることが分かっている、または事実上確実である暫定球について救済を受けるためにこの選択肢を使うことができる。

7. グリーン上はパター以外のクラブの使用を禁ずる（グリーン保護のため）。ただし、正当な理由（競技委員への確認が必要）でパターが使用できなくなった場合を除く。
8. プレーヤーが「すべてのプレーヤーに期待される行動（規則 1.2a）」に違反した場合、最初の違反は注意。2回目は警告。3回目は失格とする。
9. 各会場の特別競技規則は「地区大会会場共通・特別競技規則」よりも優先する。

< 予選共通大会注意事項 >

「競技者」

1. 競技者は、**開催ゴルフ場のドレスコード**、ルール、エチケット・マナー及び本大会要項、競技規則を理解して出場すること。
目土袋・グリーンフォーク・ルールブックを必ず持参すること。
プレー中必ず帽子を着用すること（クラブハウス内は脱帽すること）。
2. スタート時刻45分前には大会受付及びゴルフ場受付を済ませて、10分前には必ずティーイング・グラウンド付近で待機すること。
3. **競技中は携帯電話を所持してもよいが、電源を切らなければならない。**
ただし、ルール上のトラブルや体調悪くなった場合の緊急時のみに「緊急連絡携帯番号」、「ゴルフ場」に連絡することができる。
4. **プレー中の喫煙は禁止いたします。**
5. パー3のホールにおいて、後続組がティーイング・グラウンドに到着しているときは、ボールをマークして取り除き後続組に打たせること。ただし、前の組との間隔が開いているときはこの限りではない。
6. ラウンド中プレーを終了したグリーン上、及びその近くではいかなる練習ストロークも行ってはならない。（本項の違反は次のホールに2罰打付加）
7. ラウンド中プレーヤーは、部外者を近づけないように十分注意のこと。これを怠ると、規則第8条により罰せられることがあります。
8. **9ホール終了後の打撃（アプローチを含む）練習は禁止します。**
ただし、パッティング練習場でのパット練習は可とします。
9. 9ホール終了後の待ち時間は正規のラウンド中です。保護者からアドバイスを受けたり、練習器具を使用することはできません。
10. **表彰式は全部門のプレー終了後に行う。各部優勝者（タイを含む）のみに楯と副賞を授与する。**
※優勝者は必ず表彰式に出席すること。欠席した場合、楯と副賞はお送りしませんのでご了承ください。
11. 病気、その他の理由で出場できない場合は、前日（土日祝を除く）の17時30分まではマイページの「変更」ボタンからキャンセル連絡を、それ以降は開催コースへ必ず電話で報告すること。
【注意！】無断欠場した場合は、以後の大会への出場を認めません。
12. 大会当日にキャンセルをするとゴルフ場からキャンセルフィ（3,000円）が掛かる場合があります。キャンセルフィは後日、日本ジュニアゴルフ協会が各自に請求いたします。
13. 前日、当日に風、大雨、雷、雪などの天災で大会開催不可能な時は、予備日を設けていない場合はその大会は中止とし、大会参加費は返却いたします。
大会開催中に起こった天災の場合、少しでもプレーが進行したときは、競技を行ったものと同等の扱いとし、納入された参加費は返還いたしません。

「練習ラウンド」

1. 練習ラウンドにおいては、他のプレイヤーの進行の妨げとなるため、練習球（複数球）を打ってはならない。発見した場合は大会参加を取り消し、以後の大会参加も認めません。
また、他のエチケット・マナー違反も同様とします。
-

「保護者及びギャラリー」

1. ジーパン、Tシャツ、ジャージ、スウェット、サンダル、その他開催ゴルフ場が禁止する服装での入場は固くお断りをします。
2. 保護者及びギャラリーは1番、10番ティーイング・グラウンド付近及び9番、18番グリーン付近以外は、コース内への立ち入りはできません。また、開催会場によっては観戦できない場合があります。
3. ギャラリーの事故については、主催者及びゴルフ場は一切責任を負いません。
4. ティーイング・グラウンド及び練習グリーンへの立ち入りは禁止します。
5. ゴルフ場内において、指定場所以外での喫煙、飲食、睡眠を禁止します。
6. 失格等の競技委員長の決定への抗議及びその他のクレームは一切認めません。
7. エチケット・マナーの悪い方は即刻ご退場してもらいます。